

お礼の言葉

冷たい風が吹きつつも暖かい日差しが春のおとずれを感じる今日この良き日に私達卒業生のために、このように晴れやかな卒業式を挙行して、いただき心より感謝申し上げます。学長をはじめ、中央公民館の皆様、ご来賓の皆様にご臨席いただく中で、卒業できます事を、卒業生を代表し厚く御礼申し上げます。

私達は2021年9月、

明寿大学第51期生として入学いたしました。

私は、三十数年前の3月、転勤の為長崎から前橋へ引っ越して来ました。災害の少ない緑豊かな住みやすい街、前橋に、すっかり根を降ろし、終の棲家を構えました。最近では

「移住」と言うようですが、今では紛れもない前橋市民として暮らし、縁あって明寿大学生となりました。

コロナ禍の真ただ中、入学説明会もなく、事務局から届く資料と、オンラインによるリモート講座、ラジオの「おうち明寿」、感想文をメールで送信するだけで、同級生が誰なのかも知らずのうちに、公民館での最初の講座は11月15日 月曜日、初めて新入生の皆さんと顔を合わせました。そこでよく、わからないままに班長になり、その日の講義は、「心臓と血液」についての内容で、日頃の生活習慣を改めて見直す機会となりました。終了後、班の皆さんとのランチやティータイムもままならず、ほとんど、お話をすることも出来ませんでした。そのうち顔を合わせないまま退学していく仲間も増えて、とても寂しく残念な気持ちでいっぱいでした。

必修クラブは色で分けてあり、選択した英語クラブは白、11月22日が最初でした。その

当時の先生の「すぐに役立つ英語」の授業は、ワクワクしながら聞ききました。授業の最後に唄う英語の歌も楽しくて、次の授業が待ち遠しかったのを思い出します。

課外クラブは、カラオケクラブに入部、407学習室にまばらに置かれた丸椅子に座り、隣の人達も離れているため、名前もわからず、マスクの為に顔も知らない、わからない、聞きたいことも聞けない、状態。発声練習もなく、ただCDのカラオケ曲に合わせて歌うだけ、大きな声も出さず、まるでお経のようでしたね。その内、授業中止の連絡もあったり、当然、歓迎会などもなくて、いつ退部してもおかしくない状況の中で、何とか耐え、続けてきました。今となっては笑い話です。それでもやめないでよかったです。今では講師にも恵まれて、楽しい時間を過ごしています。

1年生の時は発表会がなくて、2年生で初めて、成果発表会、文化祭に参加しました。日頃の練習をみんなの前で発表出来るのは、年齢に係なく、恥ずかしくもあり、とても嬉しいものです。皆、真剣に練習しましたね。

2023年、3月に日帰り旅行、二つのコースがあり、ミュージカル「ライオンキング」の観劇、豊洲市場で買い物、都内散歩など、それぞれ思い思いに貴重な1日でした。6月には一泊研修旅行があり、福島県まで、会津の武家屋敷見学、喜多方ラーメンを食べ、夜は宴会で盛り上がり、バスの車内での仲間同士の交流など、楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。明寿の学生ならではの時間でした。

2年生から学友会の役員を承りまして、旅行の企画、文集「明寿」の編集の手伝い等 本部役員として出来る限りの範囲で行動してまいりました。中でも会議の資料作成、パソコン作業は思いの外疲れましたが、お役に立ててよかったですとホッとしています。本部役員となり今まで経験のない事や、初めて会う方達との交流、そして生まれた絆は、私の人生のかけがえのない宝物となりました。大切にしたいと思います。

私は、2年生の時に突然、股関節を痛めて歩けなくなりました。松葉つえに頼りながらの通学で、事務局に休学を申し出た事もありました。

その時、親切に付き添ったり荷物を持ってくださったりと、皆さんが助けて支えて下さったお陰で、学校を続ける事が出来ました。明寿大学の仲間の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。皆様の励ましと支えをいただき、今日、ここに卒業式を迎えることが出来ました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

コロナ禍という前代未聞の時代に共に学んだ64名の仲間達、「学びを止めない」という明寿大学の考え方でオンライン授業を取り入れながら学ぶことができました。忘れることのできない、思い出となりました。

今日 この卒業の日を迎え、在校生の皆様にご伝えたいことは「今しか出来ない事をやる」 自分が置かれた立場で「挑戦」 明寿大学で生まれた、人とのつながりを大切に、社会に貢献できる事があればと思います。

4年6か月、あたたかく、時には厳しく指導してくださった先生方、常に支え、見守って下さった事務局の皆様、長い間ありがとうございました。

又どんな時でも協力し、背中を押してくれた家族にも感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございました。

私達64名はそれぞれの未来に向い旅立ちます。明寿大学への心からの感謝を捧げるとともに、更なる発展と歴史を刻まれますように、又ご臨席の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お礼の言葉といたします。

令和八年三月十六日

卒業生代表

茂 美根子